

『日本のルーツ筑波山 異説 筑波の神々物語』刊行

- 日本の開闢を「筑波山」に求め、多くの文献と現場から検証した意欲作
- イザナギ・イザナミの「国生み・神生み」は東日本から始まった
- 三内丸山遺跡の存在が「日本のルーツ 筑波山」を後押しした

株式会社プレステン(本社:茨城県つくば市・代表取締役:飯野道郎)では、同社発行の地域情報紙プレステン、およびプレステンTX沿線版シティオペラで連載中の「異説 筑波の神々物語」をベースに、大幅な書き下ろしを加えた書籍『日本のルーツ筑波山 異説 筑波の神々物語』を刊行いたしました。

本書は、飯野道郎(ペンネーム:いい・のみち)が、偽書といわれる『ホツマツタエ』*に描かれている生き生きとした神々に触発され、青森県の三内丸山遺跡による歴史認識のアップデートに後押しされたことが端緒となりました。まずは「秀真国」*の本拠地である茨城県で、関連する伝承や痕跡をリサーチ。特に神社の創建主旨や祭神、地域に伝わる民話・伝承を調査しました。また常陸国(茨城県)や総国(千葉県)などの郷土史関連書籍、地名辞典などを参考に“仮説と検証”を繰り返し、この度、一冊の書にまとめました。

『日本のルーツ筑波山 異説 筑波の神々物語』は、7代天神イザナギ・イザナミの「国生み・神生み」、あるいは「西日本開発」をメインストーリーに、日本のルーツは東国(筑波)であり、文明・文化は東から西へ伝播していったことを、地名の共通性や人口の推移などの事実から読み解いた意欲作となっています。

※ホツマツタエ(秀真伝)…12代景行天皇56年(推定126)に、大直根子命(オオタタネコ)が献じたと言われる歴史書。五七調の散文詩、ヲシテ文字(神代文字)で書かれている。40綾(章)の構成で、神代時代から日本武尊までの内容。1～28綾までは、大直根子命の祖先で、神武天皇の「右の臣」5代オオモノヌシ・クシミカタマ(ワニヒコ)の作を使用。記紀以上に整合性がある。姉妹編に『ミカサフミ』『フトマニ』。一般に知られたのは、1966年に松本善之助氏が、古書店で3綾分を発見し、それを公表したからである。

※秀真国(ほつまのくに)…筑波山麓を中心に関東地方から東海地方、三重県が範囲で東海道エリアを想定。

■著者略歴：いい・のみち

1950年、茨城県真壁郡五所村上平塚(筑西市)に生まれる。父は木版画家・飯野農夫也。下館市立五所小学校、同西中学校を経て、1969年、茨城県立下館第一高等学校卒。1975年、同志社大学文学部(美学芸術学専攻)卒。

1975年株式会社高山入社(東京都文京区/印刷業)。1986年株式会社常陽新聞社入社(土浦市)。1991年株式会社プレステン設立、代表取締役就任。生活情報紙プレステンを発刊。

本名/飯野道郎 編著/野に叫ぶ 飯野農夫也と奥久慈版画会

■書籍名：日本のルーツ筑波山 異説 筑波の神々物語

■A5版 288頁 オールカラー

■定価 税込2,500円(本体2,273円+税10%)

ISBN978-4-600-00697-6

■発行元：株式会社プレステン

〒305-0854 茨城県つくば市上横場423-3 TEL.029-838-2366 FAX.029-838-2486

http://www.press10.co.jp E-mail: info@press10.co.jp

以上

『日本のルーツ筑波山』への心情

破天荒な神々物語になっているが、手掛けられたのは青森県・三内丸山遺跡の発見によるところが大きい。縄文時代の認識を根本的に変える遺跡で、東国人として嬉しかった。それまで縄文人は原始的狩猟民であり、毛皮をまとったその日暮らしのイメージであったが、三内丸山遺跡が平和で繁栄した縄文文明を証明してくれた。

『ホツマツタエ』は偽書とされている古史古伝のひとつで、常陸国の筑波山麓を日本発源地と明記している。学術的に無価値とされているが、記載内容調査は筑波山麓に生まれた私の責務と考え挑戦した。

検証作業は、考古学・古代地名・科学的視点・民間伝承などをベースに進めた。すると5000年程前の人口比率が東日本(関東・東北・中部・東海・北陸)に96%以上の人が住み、西日本(近畿・山陰・山陽・四国・九州)は4%に達していないという研究データを知った。こうした人口偏在は、学校や古代史の展示会でも周知されていない。その上で入手可能な資料を集め、「国生み・神生み」を縄文人の西日本開発と判断した。

考古学や古代地名、地域伝承を精査していくと、筑波山麓が「オノコロシマ」と推測が可能となり、「日本のルーツ」と断定した。なお筑波山開闢説は、江戸時代には広く知られ絵草紙にもなっている。日本各地に様々な開闢説が伝承されているが、皇国史観による学校教育などで日向国高千穂説に一本化された。

考古学的見地などで考えると、東日本が本拠地でなければ、神話を3000年以上遡ることが難しくなり、架空話の要素が強くなる。だが視点を変更することで別次元の神話解釈が可能になり、日本人の本質理解に結び付くと確信でき、物語を進行させた。

著者 いい・のみち

国づくりは、東日本から始まった

日本のルーツ 筑波山

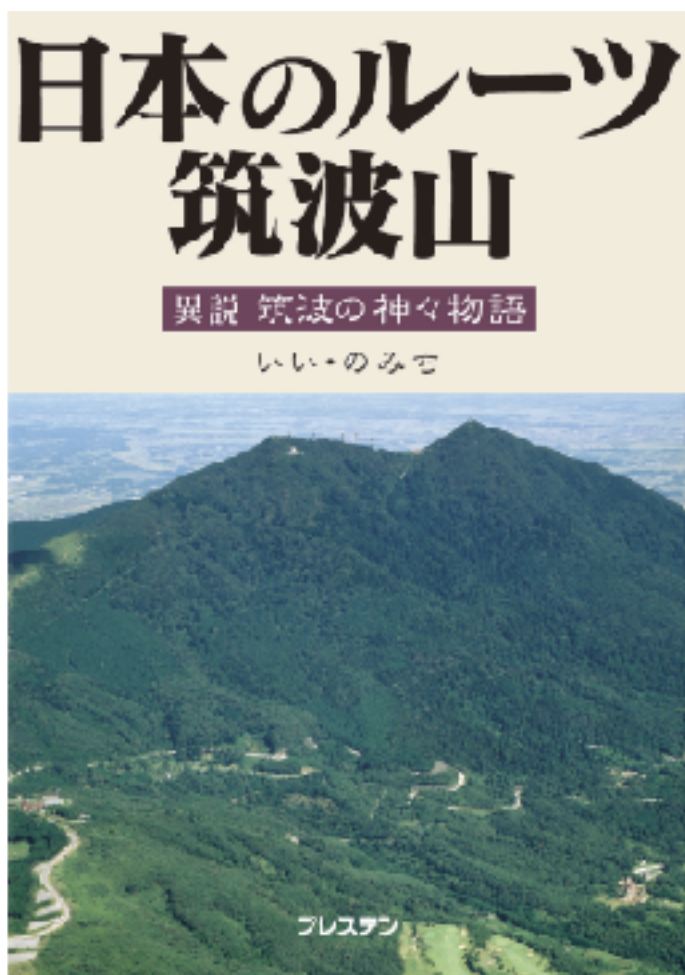
異説 筑波の神々物語

いい・のみち 著

神話「国生み・神生み」の真実。

茨城県・千葉県から、考古学、古代地名、科学的視点で
斬新分析！学校では学べない、「驚きの歴史」!!

大好評
発売中!!



ホツマツタエに見える、関東や東北人の活躍！

- 第一章 日本の始まり、伊佐宮を探せ
- 第二章 これまでの常識に疑問符を持つ
- 第三章 秀真国は、筑波山麓から始まる
- 第四章 「いさ」と「いさわ」の特別な関係
- 第五章 筑波山麓の社が伝える秀真国
- 第六章 地域伝承や地名に見える国土開発
- 第七章 西日本開発成功に向けたシステム
- 第八章 和名抄の郷名調査で真実に迫る
- 第九章 東国の誇りを取り戻せ
- 第十章 地名調査から見えた開発の実像
神々の紹介など

地域情報紙「プレステン」、
TX沿線情報紙「シティオペラ」で
連載大好評！
さらに大幅加筆!!

■ A5版 288頁 ■ オールカラー

価格 税込2,500円 ISBN978-4-600-00697-6

お申込方法

ハガキ、ファックス、メール、または弊社ホームページのお問い合わせ
いずれかで、下記①～⑤をお知らせください。後日、お支払金額・方法
をご連絡いたします。なお発送の方は代金先払いとなります。

①冊数 ②お名前 ③ご住所 ④電話番号 ⑤購入方法(発送または弊社引取)

お申し込み 問い合わせ

〒305-0854 茨城県つくば市上横場423-3 (株)プレステン 書籍係
電話 029-838-2366/FAX 029-838-2486
メール info@press10.co.jp
ホームページ <http://www.press10.co.jp>

